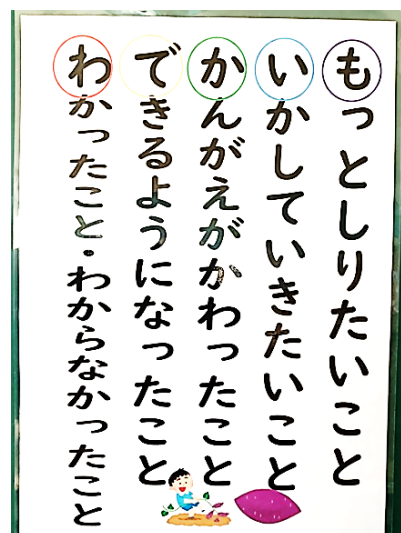
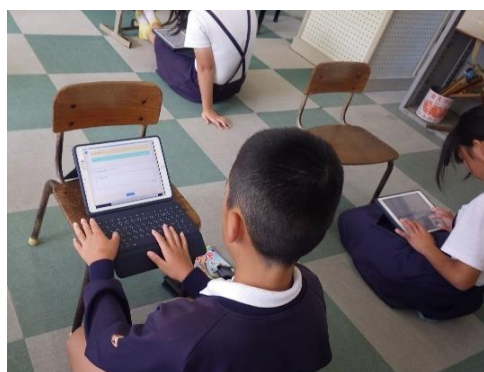


学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例（令和6年度版）

学校名	指宿市立今和泉小学校	児童生徒数	73 人
-----	------------	-------	------

○ 令和5年度 振り返りの実際

成果



【5】今日の振り返りを書こう。（わでかいも）

回答一覧

い 星ぶえの発表の時に今日学んだ、強弱やパートの分かれている部分をいかして演奏したいなと思いました

も
追いかけてくるのは他にないか知りた
い。

わ バイオリンとピアノを聴いたのでしっかりといかしたいです。

い 今度の文化祭の時体育館まで響き渡るくらいで弾きたいです。

第6学年音楽科「ききどころを生かして」における実践

ロイロノートのアンケート機能を活用して行った。アンケートの項目は、「めあてを達成することができたか」「楽しく活動することができたか」「歌や楽器に積極的に取り組むことができたか」の4点。自由記述欄は「わでかいも」の観点を示したことで、学習して感じたことを明確に書くことができるようになった。

課題

振り返りの観点は全学年「わでかいも」のキーワードを示して行うようにしていた。教科によっては毎時間の振り返りの時間確保が難しかったり、振り返りをさせてもコメントをするなどの称賛（評価・価値付け）ができなかったりすることもあった。また、振り返りが1時間の授業に限ったもので、次の学びや教師の授業改善に生かすところまで結びつかない現状もあった。そのため、学年相応の振り返りの仕方を考える必要があると考えた。

○ 令和6年度 振り返りの実際

改善策

- ① 子供たちの振り返りに対して共有や称賛（評価・価値付け）をする。
→振り返りカードの作成，ロイロノートで提出させコメントを返す。
- ② 学年に応じた振り返りの仕方を検討（いずれもロイロノート活用）
低学年では，観点を添付したノートを送り記録させる。観点を4段階で評価する。
中学年では，記述式と選択式と学習や実態に合わせた振り返りをさせる。
高学年では，振り返りの観点を指示する。学習内容及び学習方法について振り返りをする。

成果等

～なかまときょう力！ボールなげゲーム～

がんのめあて

まとかかわりながら、ボールなげゲームを楽しもう！

自分のめあて

① いろいろなボールを高くなげる。

なげるのがいっすういいボールもありましたね。

② かたでボールが投げられるようになる。

少しずつ、うう手から、かた手で
投げられるようになったのでね。

③ かた手でボールをきっちりできるようになる。

まず、うう手で、うううけとめ
られるようになったのでね。

④ 相手に上手にパスできるようにする。

うう手をよく見て、「うう」と声をかけながら
パスをすることができるようになりました。

ふりかえり

①	いろいろなボールを高くなげる。	めあてをもち、あそびました。	めあてをもち、あそびました。	めあてをもち、あそびました。	めあてをもち、あそびました。
②	かたでボールが投げられるようになる。	めあてをもち、あそびました。	めあてをもち、あそびました。	めあてをもち、あそびました。	めあてをもち、あそびました。
③	かた手でボールをきっちりできるようになる。	めあてをもち、あそびました。	めあてをもち、あそびました。	めあてをもち、あそびました。	めあてをもち、あそびました。
④	相手に上手にパスできるようにする。	めあてをもち、あそびました。	めあてをもち、あそびました。	めあてをもち、あそびました。	めあてをもち、あそびました。

2年体育 単元名「ボールあそび」

教師が示した観点に対する振り返りを☆の数で評価するようにした。低学年でも短時間で自己評価ができ、継続的な振り返りから自分の成長を感じることができた。

3年算数 単元名「大きい数」

単元の学習が終わったときの振り返りのグラフである。学習したことが今後の生活でどのように生かせるか選択させた。全体で共有することで、日常生活との繋がりを考えることができた。

Q2 大きい数の学習で、これからの生活にいかしてみたいことはありますか。いくつでも選べます。



多い人数を数えるときに 生活の中で大きい数を使 大きな数のたし算やひき とくに、いかせることは そのほかをやっていたこと
使えそう。じんこうと う場面をさがしてみた 算をもっとやってみた ない。 がある。
か、スタジアムに入る人 い。 い。

ふりかえり

①上手にできた（わでかいも）

か 弥生時代の方が時代が進んでいい世の中になると思ったけど「かしら」や「かへい」が出てきた。縄文時代にはあまり出てこなかった決まり事が増えるかもしれないと考えた。

②できなかった

みんなの発表を聞いたら、自分では調べきれていないことが多いと思った。もっと友達と交流しようと思った。

6年社会科 小単元名「縄文の村から古墳のくにへ」

「考えが変わったこと」で振り返るように指示した。縄文時代と弥生時代の違いを調べたことから「かしら」が存在した理由を予想し、どのような世の中になっていったのか今後の学習の見通しをもつことができた。

交流する場の設定やその必要性について教師自身が考えるきっかけになった。